



柳谷 渉
(大河・生々・みどりの会連合)

国保税の税率再引き上げ

質 国保税の収納状況は悪化の一途である。市は21年度に引き続き23年度にも税率を上げたいとしているが、市民は限界。極力上げない方向で運営努力できないか。

答 これまでも歳出抑制のため特定検診等の推進やがん検診等への助成、広報等によるジェネリックの啓発等を行い、また歳入確保のため収納対策や財政支援の拡大等を国、県に要望し、税率引き上げの抑制に取り組んできた。今後も厳しい状況が予想され、一般会計からの繰り入れを含めた事業運営の検討が必要と考える。

総合的な治水対策

質 国の米代川河川の災害復旧工事は22年度に予定どおり完成の見込み。市長の労を多としたい。だが、内水対策も重要だ。悪土川増水による松長布地区の浸水対策はどうか。

答 悪土川の浸水対策については、ハード・ソフト面の取り組みが重要であり、県が治水対策の検討を行うとともに、市は宅地開発をする場合の盛り土等の指導や住民が自主判断するための情報提供等をしていく。

その他の質問事項

- ・小友沼の渡り鳥の保護
- ・木材産業の振興
- ・浄化槽整備PFI導入



飯坂 誠悦
(創風会)

リサイクルポート

質 能代港利活用促進に向けた新たなビジョン作成の検討が必要とのことだが、今までのビジョンのどの箇所が不備であったのか。また、いつごろまでに作成する予定であるのか。

答 秋田のみならずビジョン策定から5年が経過し、リサイクルポートの指定や循環資源取扱支援施設の整備など、状況の変化により今後の能代港の利活用促進の具体的対応が求められている。このビジョンをベースに、港湾関係者による準備会議で策定のイメージや手順等について協議しており、年内に策定したい。

公共建築物の木造・木質化

質 浅内小の建築の検証で得られた成果が現在建設中の第四小、二ツ井小にどのように反映されたのか。まもなく住吉町住宅の建設も始まり、木都のしるのPR効果が試されるが。

答 現在建設中の2校の検証については、2月18日に能代市公共建築物整備産学官連携研究会を開催し、聞き取り調査の中間報告を行っている。今後、この研究会でさまざまな問題点解決のための話し合いを行うとともに、能代方式ともいえる公共建築物の木造・木質化システムの確立を図り、全国に発信していきたい。

その他の質問事項

- ・拉致問題への取り組み
- ・郷土の偉人と歴史を学ぶ意義
- ・市有地に神社等が建立された事例



菊地 時子
(日本共産党)

学童保育待機児童の解消と環境改善

質 向小区のなかよしクラブが学校側の御理解を得て空き教室を使用できることになった。必要としている子供たちが入所でき、安心して生活できるよう他クラブについても改善を。

答 他の留守家庭児童会のうち、樽子山の家については小学校にも隣接し、建物も丈夫であることから、安全な環境は確保されていると考える。一方、青空会については小学校から距離があり、建物もプレハブに近いものであることから、今後も引き続き施設の改修や他の施設への移転の可能性を探っていきたい。

乳幼児医療費無料化の拡充

質 子供が病気になったときの不安は大きいものである。医療費の心配をなくすことは大きな子育て支援につながる。他市でも助成の拡充が進んでいる。検討されているか。

答 これまで実施計画等で検討してきた。厳しい財政事情もあり、実施には至っていないが、拡充の必要性は認識している。市では子育て支援について各課で取り組んでおり、乳幼児の医療費助成なども含め、能代らしい支援策について総合的に見地から検証しているところであり、22年度中にはまとめ上げたいと考えている。

その他の質問事項

- ・学童保育利用料負担軽減
- ・学校給食地場産の自給率
- ・学校給食食材への助成を